

## 平成25年度宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会 会議録

日 時：平成25年6月15日（土）午前10時開会、正午閉会

場 所：宮沢賢治イーハトーブ館講義室

出欠者：出席委員 岩田会長、青木委員、阿部委員、高橋委員、大原委員、越後委員、武政委員、  
多田委員

欠席委員 浅沼委員、高橋委員

説明者 栗原館長、高橋賢治まちづくり課長、藤井事務長、牛崎副主幹

### 1 開 会

### 2 あいさつ

栗原館長

高橋賢治まちづくり課長

### 3 議 事

岩田会長が議長になり議事を進行（宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項）

#### (1) 平成24年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業報告について

藤井事務長

平成24年度年報の運営の概要、入館者数の資料により、平成24年度事業概要を説明した。

越後委員

ホールの貸出しはどうなっているか。

藤井事務長

賢治に関する研究発表や講演を最優先としており、来館者の申し出により賢治アニメの上映を行っている。これらの使用に支障のない範囲で、芸術・文化に関わるものに貸出ししている。無制限にということではなく、内容を把握して貸し出している。

高橋賢治まちづくり課長

ホールの貸出しは、館の設置目的に違反しない、あまりずれないことが必要で、例えば、物売りや宗教はダメ、文化・芸術活動には活用いただきたい。

阿部委員

企画展の資料は、展示終了後どのようになっているか。保存しておく場所はあるか。資料をうまく融通できればいい。

牛崎副館長

大半は廃棄しているが、高村記念館での活用、宮沢賢治記念館で保存しているものもある。データは保存している。

阿部委員

賢治賞・イーハトーブ賞受賞者の資料の寄贈はどうなっているか。こうした方々のコーナーを設けられないか。

栗原館長

イーハトーブ賞受賞者の資料で、賢治に関係の無い資料を除き、賢治に関係のある資料

は学会から寄贈依頼をし、寄贈されないものは市費で購入し、収集している。

岩田議長

賢治賞・イーハトーブ賞受賞者のコーナーがほしい。

藤井事務長

賢治関係の文書等は、一定のルールで分類・整理・保存している。

高橋賢治まちづくり課長

どのように紹介していくか、今後研究させていただきたい。

栗原館長

賢治賞・イーハトーブ賞受賞者は、どこかにコーナーがあればいい。

高橋賢治まちづくり課長

整備を進めている（仮称）花巻中央図書館に、先人図書等のコーナーを設けることも考えられる。

高橋委員

栃木賢治の会等、貴重な資料を持っている方に対し、資料の受入れ先（記念館かイーハトーブ館か）を決めておくことが必要だ。

牛崎副館長

一次資料は記念館で受けている。

栗原館長

二次資料は資料の内容の判断にもよるが、イーハトーブ館で受け入れる。記念館やイーハトーブ館に相談いただきたい。

牛崎副館長

資料の散逸はこわい。

#### (2) 平成25年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画について

藤井事務長

平成25年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画（案）により計画概要を説明した。

高橋委員

階段の手摺り設置は、年取った方に対してなど、とっても良かった。

藤井事務長

階段手摺りは、平成25年度に予算が計上されたので、ゴールデンウィーク前に設置した。

青木委員

夏季特設セミナーの内容は、いつもこの時期か。

栗原館長

セミナーの内容は調整中である。今年はこの時期で了解願いたい。

#### 4 その他

栗原館長

3月に学会理事会があり、賢治記念館リニューアルが話題になった。学会が口出しすることではないが、見せ方について学会で助言、調整、協力したい。

概要やスケジュール、基本精神について説明いただければ。

高橋賢治まちづくり課長

エリアー帯を見直す必要がある。4つで賢治を紹介していきたい。

賢治記念館は賢治を知る、イーハトーブ館は学ぶ、童話村は賢治と遊ぶ、博物館は賢治を生んだ花巻を知る、としている。

賢治記念館のリニューアルは、平成25年度に展示設計、平成26年度展示リニューアルを予定しており、平成27年度までには終えたい。イーハトーブ館は施設の修繕である。そのほか、新花巻駅から記念館までのモニュメントの設置、記念館までの坂の融雪装置の設置、歩道の設置を進める。

業者選定はプロポーザル（提案）方式で、市への登録業者のうちから提案いただき、業者を決定し、業者決定後、展示内容を詰めていく。学会や賢治記念会からご意見をいただきたい。

来年2月末までに詳細を詰めていく。改修は平成26年度冬季間を予定している。

栗原館長

記念館建設後、本格的なリニューアルはやってきていなかったもので、重要なことだ。

記念館は、つくったときに各分野の相当な方を集めて、宮沢家の協力により、宮沢清六さんが監修した。たくさんの専門家がいるので、協力、応援したい。原点をつかみ直したうえで、リニューアルは必要なことだ。

青木委員

全国の文学館をみると、常設展示のリニューアルをすることが必要だ。当記念館は遺族、学会、市が寄り添ってやっている。協力のし合い方は大切だ。力を合わせていいものにしていただきたい。

高橋賢治まちづくり課長

一緒になって取り組む必要がある。ご相談していきたい。

栗原館長

賢治を研究してきてわかったこともある。テクノロジーも進歩している。賢治の思想を大事にしながら。

岩田議長

基本的理念を確立しておく必要がある。

越後委員

4館を市民が利用するに当たって、ふくろう号の巡回をお願いしたい。

高橋賢治まちづくり課長

ふくろう号を4館まで巡回すると、距離が長くなり効率が悪いこと、県交通のバスが走っていること、タクシー利用の面など、空港と新駅、4館のバス運行は課題になっている。

岩田議長

イーハトーブ館条例で「教育委員会」の文言がみえるが。

高橋賢治まちづくり課長

イーハトーブ館は教育委員会の権限であるが、まちづくり部長が補助執行しているものである。